

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月9日

上場会社名 パス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3840 URL <http://www.pathway.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中原 信一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 梶川 量由 TEL 03-6823-6664
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 1,784 | 6.9 | 17 | — | 26 | — | △13 | — |
| 2018年3月期第2四半期 | 1,669 | △4.5 | △14 | — | △7 | — | △25 | — |

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 22百万円(—%) 2018年3月期第2四半期 0百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第2四半期 | △0.48 | — |
| 2018年3月期第2四半期 | △1.28 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期第2四半期 | 2,779 | 1,903 | 62.3 | 61.35 |
| 2018年3月期 | 2,808 | 1,856 | 62.2 | 61.83 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 1,732百万円 2018年3月期 1,746百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2019年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,247 | △4.8 | △17 | — | △4 | — | △34 | — | △1.21 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年3月期2Q | 28,240,000株 | 2018年3月期 | 28,240,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期2Q | 一株 | 2018年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2019年3月期2Q | 28,240,000株 | 2018年3月期2Q | 19,957,700株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予測数値と異なる可能性もあります。尚、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| 3. その他 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、2018年3月29日に旅行事業を廃止いたしました。当社の連結子会社である株式会社マードゥレクス及び株式会社ジヴェアスタジオが牽引している「通信販売事業」において、海外事業が順調に拡大していることや骨盤矯正用EMS、クレンジングの売れ行きが好調でありました。

これらの結果、売上高は1,784百万円（前年同四半期比114百万円増）、営業利益は17百万円（前年同四半期は14百万円の営業損失）、経常利益は26百万円（前年同四半期は7百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は13百万円（前年同四半期は25百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

当第2四半期連結会計期間において、Blockshine Japan株式会社及び、Blockshine Singapore Pte, Ltdを設立したことに伴い、同社が営む「ブロックチェーン関連事業」を報告セグメントとして新たに追加しております。

これにより、「通信販売事業」、「ブロックチェーン関連事業」の2つの報告セグメントとなっております。

(通信販売事業)

通信販売事業につきましては、前述した要因のとおり、売上高は1,784百万円（前年同期比276百万円増）、営業利益は88百万円（前年同四半期比17百万円増）となりました。

(ブロックチェーン関連事業)

ブロックチェーン関連事業につきましては、2018年9月より事業を開始し会社設立に係る費用等を計上したことにより、営業損失は4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結累計期間末における流動資産は2,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が30百万円増加したものの、現金及び預金が14百万円減少、受取手形及び売掛金が17百万円減少、原材料及び貯蔵品が18百万円減少したことによるものです。固定資産は262百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が6百万円増加したものの、有形固定資産が7百万円、投資その他の資産が2百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、総資産は2,779百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結累計期間末における流動負債は515百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少いたしました。これは主に買掛金が29百万円、その他が24百万円減少したことによるものです。固定負債は360百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は875百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産合計は1,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が13百万円減少したものの、非支配株主持分が61百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率62.3%（前連結会計年度末は62.2%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14百万円減少し1,678百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは2百万円の支出（前年同四半期は94百万円の収入）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加11百万円、仕入債務の減少29百万円、未払金の増加10百万円及び税金等調整前四半期純利益が26百万円発生したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは13百万円の支出（前年同四半期は6百万円の支出）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出12百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは0百万円の収入（前年同四半期は179百万円の収入）となりました。主な要因は、連結範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入24百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出23百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、2018年5月11日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,693,115 | 1,678,264 |
| 受取手形及び売掛金 | 323,092 | 305,594 |
| 商品及び製品 | 426,473 | 456,635 |
| 原材料及び貯蔵品 | 64,233 | 45,732 |
| 未収入金 | 4,831 | 46 |
| その他 | 35,203 | 33,640 |
| 貸倒引当金 | △3,482 | △2,778 |
| 流動資産合計 | 2,543,466 | 2,517,137 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 37,433 | 37,433 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △29,637 | △30,246 |
| 建物及び構築物（純額） | 7,795 | 7,186 |
| 工具、器具及び備品 | 212,422 | 216,830 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △159,220 | △170,123 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 53,201 | 46,706 |
| 有形固定資産合計 | 60,997 | 53,893 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 80,504 | 75,137 |
| ソフトウェア | 25,473 | 20,018 |
| ソフトウェア仮勘定 | — | 17,057 |
| その他 | 8,251 | 8,485 |
| 無形固定資産合計 | 114,228 | 120,699 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 76,432 | 76,182 |
| 繰延税金資産 | 13,695 | 11,181 |
| その他 | 13,080 | 12,250 |
| 貸倒引当金 | △13,080 | △12,000 |
| 投資その他の資産合計 | 90,127 | 87,613 |
| 固定資産合計 | 265,353 | 262,206 |
| 資産合計 | 2,808,820 | 2,779,343 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 299,289 | 269,417 |
| 未払金 | 206,076 | 201,858 |
| 前受金 | 4,677 | — |
| 未払法人税等 | 1,770 | 2,703 |
| 賞与引当金 | 20,258 | 17,432 |
| 返品調整引当金 | 8,052 | 5,320 |
| その他 | 43,743 | 18,977 |
| 流動負債合計 | 583,869 | 515,708 |
| 固定負債 | | |
| 債務保証損失引当金 | 367,866 | 359,538 |
| その他 | 957 | 638 |
| 固定負債合計 | 368,824 | 360,176 |
| 負債合計 | 952,693 | 875,885 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,438,187 | 2,438,187 |
| 資本剰余金 | 2,478,308 | 2,478,308 |
| 利益剰余金 | △3,170,274 | △3,183,945 |
| 株主資本合計 | 1,746,220 | 1,732,549 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | — | △14 |
| その他の包括利益累計額合計 | — | △14 |
| 非支配株主持分 | 109,906 | 170,923 |
| 純資産合計 | 1,856,126 | 1,903,457 |
| 負債純資産合計 | 2,808,820 | 2,779,343 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 1,669,921 | 1,784,919 |
| 売上原価 | 823,532 | 895,037 |
| 売上総利益 | 846,389 | 889,882 |
| 販売費及び一般管理費 | 860,506 | 872,031 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △14,117 | 17,850 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 7 |
| 為替差益 | 17 | — |
| 業務受託料 | 960 | — |
| 債務保証損失金引当戻入額 | — | 8,328 |
| 本社移転損失引当金戻入益 | 5,565 | — |
| その他 | 933 | 480 |
| 営業外収益合計 | 7,478 | 8,816 |
| 営業外費用 | | |
| 株式交付費 | 773 | — |
| 為替差損 | — | 340 |
| その他 | 143 | 173 |
| 営業外費用合計 | 917 | 513 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △7,555 | 26,154 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 5,019 | — |
| 債務保証損失引当金戻入額 | 8,802 | — |
| 特別利益合計 | 13,821 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,265 | 26,154 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,611 | 780 |
| 法人税等調整額 | — | 2,514 |
| 法人税等合計 | 5,611 | 3,294 |
| 四半期純利益 | 654 | 22,860 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 26,204 | 36,530 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △25,550 | △13,670 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 654 | 22,860 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | — | △28 |
| その他の包括利益合計 | — | △28 |
| 四半期包括利益 | 654 | 22,831 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △25,550 | △13,685 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 26,204 | 36,516 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,265 | 26,154 |
| 減価償却費 | 22,975 | 18,197 |
| のれん償却額 | 5,366 | 5,366 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △1,874 | △704 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △1,958 | △2,826 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 210 | — |
| 返品調整引当金の増減額 (△は減少) | 3,777 | △2,732 |
| 債務保証損失引当金の増減額 (△は減少) | △8,802 | △8,328 |
| 本社移転損失引当金の増減額 (△は減少) | △31,580 | — |
| 受取利息 | △2 | △7 |
| 株式交付費 | 773 | — |
| 新株予約権戻入益 | △5,019 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 78,742 | 17,497 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 84,378 | △11,662 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △55,387 | △29,872 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 4,774 | 3,402 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △15,574 | 10,154 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | △309 | △4,677 |
| 前渡金の増減額 (△は増加) | 5,803 | — |
| 加盟店預り金の増減額 (△は減少) | △723 | — |
| その他 | 4,468 | △20,455 |
| 小計 | 96,305 | △493 |
| 利息の受取額 | 2 | 7 |
| 法人税等の支払額 | △2,281 | △1,529 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 94,025 | △2,015 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | — | △880 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,091 | △12,853 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △4,200 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,291 | △13,733 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 株式の発行による収入 | 179,242 | — |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | — | △23,601 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入 | — | 24,500 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 179,242 | 898 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | 0 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 266,976 | △14,850 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 260,931 | 1,693,115 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 527,908 | 1,678,264 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、Oakキャピタル株式会社の第9回新株予約権の行使により、2017年4月21日付で150,013千円、2017年6月23日付で30,002千円の払込みを受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が90,578千円、資本準備金が90,578千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,894,849千円、資本準備金が1,897,851千円となっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------|---------|-----------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | コンサルティ ング事業 | 旅行事業 | 通信販売事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | — | 161,126 | 1,508,794 | 1,669,921 | — | 1,669,921 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 1,299 | — | 1,299 | △1,299 | — |
| 計 | — | 162,426 | 1,508,794 | 1,671,221 | △1,299 | 1,669,921 |
| セグメント利益又は 損失(△) | — | △3,253 | 70,978 | 67,725 | △81,842 | △14,117 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△81,842千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等
あります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|------------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 通信販売事業 | ブロック チェーン関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,784,919 | — | 1,784,919 | — | 1,784,919 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,784,919 | — | 1,784,919 | — | 1,784,919 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 88,621 | △4,956 | 83,664 | △65,813 | 17,850 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△65,813千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等があります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「コンサルティング事業」、「旅行事業」、「通信販売事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、「コンサルティング事業」は、前連結会計年度及び当第2四半期連結累計期間において受注がなく今後も収益及び費用の発生が見込まれなくなったこと、「旅行事業」はパストラベル株式会社の全株式を2018年3月29日付で売却し連結の範囲から除外したことにより、これらの報告セグメントを廃止しております。

また、第2四半期連結会計期間において、Blockshine Japan株式会社及びBlockshine Singapore Pte, Ltdを設立したことに伴い、同社が営む「ブロックチェーン関連事業」を報告セグメントとして新たに追加しております。

3. その他

該当事項はありません。